

基本的な感染症対策と受講上の注意事項【お願い】

(令和6年9月22日～27日 特別講習交通誘導警備業務2級)

警備員特別講習事業センターが行う講習のカリキュラムには、学科講義に加えて実技訓練が予定されています。実技訓練では、様々な資機材を順番に使用したり、受講者同士が触れ合う状況で発声を伴う動作が求められたりする科目があることから、この講習は基本的な感染症対策を行いながら運営することを基本とし、受講者様ご自身にご協力いただかなければならぬ場面も多く発生することになります。

また、会場となる研修センターふじのにおいても感染症対策のガイドラインが定められていることから、受講をご希望の方におかれましては、次の事項についてご承知いただくとともに、講習参加の可否についてご検討をお願いします。

1 講習受講前の注意事項

- ① マスクの着用、手洗い・手指消毒などを日々励行し、体調管理に努めてください。
- ② 講習当日朝または前日（家を出発する前）に、発熱、咳、喉の痛み、味覚・嗅覚の異常などの症状がみられる方は、受講を自粛していただくようお願い申し上げます。
- ③ 高齢の方、基礎疾患（循環器疾患、糖尿病、呼吸器疾患、癌、各種免疫不全など）のある方は、感染症に罹患した場合に重症化しやすいと考えられることから、受講を見合わせるようにお願いします。
- ④ 所属会社のご担当者様におかれましては、従業員様の体調について適時把握するようにしていただき、無理に受講する（させる）ことのないようにご配慮願います。

2 講習の運営要領と学科講義・実技訓練時の注意事項

- ① 講習受付時に非接触型体温計により体温の測定を行い、体調のチェックを行います。
- ② 講習中のマスクの着用については、受講者様ご自身の判断に委ねられるものですが、次のような場合にはマスクの着用をお願いすることがございますので、ご協力ください。また、体調の急変などに備えて、必ずマスクを複数枚ご用意ください。
 - 発熱、咳、鼻詰まりなど風邪のような症状がみられるとき
 - 人と人が触れ合う程度の距離間隔において、発声を伴う実技訓練等を行うとき
 - 施設内の環境（換気状況等）を踏まえ、マスク着用の必要性が認められるとき
 - 地域の感染状況からマスクの着用が必要であると認められるとき
- ③ 受講者同士で接触して行う実技科目があります。手袋等を着用しても構いませんので、必要な場合はご用意ください。
- ④ マスクを外した状態で咳・くしゃみをする際には、ハンカチやティッシュなどで口や鼻をおさえるようにしてください（咳エチケット）。
- ⑤ 学科教場は3人用の机に2人が着くように配席いたします。講習期間中の席は決まつ

ておりますので、休憩中や自習中に他の受講者の席に座らないようにしてください。

- ⑥ 学科教場・実技訓練会場は、1時間に2回以上（または常時）の換気を行います。空調の効きが悪くなることが考えられますので、服装は寒暖に対応できるものをご用意ください。
- ⑦ 学科講義・実技訓練で使用する資料や資機材を配付する際に、受講者間での受け渡しが発生します。各时限の開始前・終了後には必ず手指消毒を行い、講義・訓練中は手指を常に清潔に保つようにしてください。（会場の随所に消毒液を設置します。）
- ⑧ 訓練用無線機のマイク部など口元に近づくものは、使用の都度消毒することとしております。原則として講師・事務局職員が清拭消毒を行いますが、一部科目では使用した方に消毒をお願いすることがあります。
- ⑨ 体調不良を感じた場合には、速やかに近くの講師・事務局職員にお知らせください。また、会場や宿泊室の換気を行いながらの講習期間となるため、空調や就寝時等の服装にも留意するとともに、体調の管理に十分ご注意ください。

3 休憩、食事、宿泊についての注意事項

- ① マスクを外した状態で、対面・近距離で会話することは控えてください。特に屋内喫煙所をご利用の際にはご配慮をお願いします。
- ② 食事前には手洗い・手指消毒をするようお願いいたします。また、白飯やスープなどは受講者様ご自身で配膳していただきます。
- ③ 食堂の利用人数によっては対面して食事をとることになりますので、食事中は私語をしないようにしてください。
- ④ 浴場内が混雑しているようであれば、時間帯をずらすなどして譲り合ってのご利用をお願いします。ご利用の際は対人距離を確保し、会話は控えるようにしてください。
- ⑤ 宿泊室は、部屋の広さに応じて1室につき2～3人までとし、定員よりも少ない状態でご利用いただけますが、利用に際しては室内の換気に留意し、コップや寝具などを共用しないようにしてください。
- ⑥ 発熱などの症状がみられる場合は、居室を移動していただくことがあります。

4 その他

以上の基本的な感染症対策については、講習当日の社会情勢、政府の方針、地域の状況等によって、強化または緩和することがあります。